



プロジェクト名称

TDW 2014 ASIA AWARDS 学校作品展出展プロジェクト

プロジェクト活動概要

『TOKYO DESIGNERS WEEK(以下略称 TDW)』とは、毎年秋に明治神宮外苑にて開催される国内最大のデザインイベントである。本プロジェクトでは、学生作品展に大学作品として展示を行うものであり、オリジナルアプリケーションを製作して来場者参加型のインタラクティブな展示を行う。また、優れた学校出展に対して School of the Year / Student of the Year といった賞が贈られるため、それらの賞も視野に入れた、インパクトのある展示を目標に制作する。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2014年10月1日～12月31日

アイデア検討を重ね、『『ブタ』の食べ方』というタイトルで「食」をテーマに大量廃棄の社会に問題を提起することをコンセプトにしたメディアアートを展示する方向でプロジェクト決まり、制作物を展示するブースの内装の制作と展示物の制作の2班に分けて作業を進めました。内装班ではメンバー内で精査した展示のコンセプトに合わせ、西洋の精肉店をイメージしたソーセージやハムを象ったインテリア、また店舗の垂れ幕やメニュー表など細部までこだわったセットづくりを心がけました。その一方で、展示物の機構部やアニメーションを動作させるプログラムの制作では、学科の授業や専攻の知識で網羅しきれない部分が多く、課題に直面する度に解決策を模索する必要がありました。そのため内装作業を担当するメンバーも展示物の制作に参加し、イベント開催数日前の完成を目標に総力を挙げて取り組んだ結果、開催前々日にはリハーサルを行い、イベント初日を万全の状態を迎えることができました。



期間中は連日多くの国内外からの一般入場者をはじめ、企業の開発部門の方々やデザイナー、学生の眼に触れ、多くのご意見・感想をいただき貴重な機会を得ました。同時に、「作品」によって伝えたいことを表現することの難しさをあらためて実感しました、大学名を掲げての展示ということから、卒業生や在学生、将来入学を目指す受験生に対し、デザイン工学部の存在やその取り組みについて知ってもらう一つの機会になったという手ごたえもあり、「デザインスキルの育成」や「大学及び学部のデザイン分野での認知度向上」といったプロジェクト発足当初の目的に沿うかたちで進めることができたように思います。しかし、参加校の優れた作品に贈られる各賞の受賞には至らず、目に見える具体的な成果を残すことができなかつた悔しさの残る内容となりました。





今後の活動計画、目標、意気込みなど

本年度は屋内ブースでの展示のため天候に左右される心配が無い反面、複雑な展示スペースの利用規定が作品の仕様に大きく影響する結果となってしまいました。そこで、来年度以降の展示では屋内外の展示スペースのメリット・デメリットを整理した状態でどちらの環境が好ましいかを比較検討することが望ましいと考えます。また、計画から大幅に遅れての制作開始となったので、不測の事態にも柔軟に対応できる余裕のある行動計画の下進めることに留意し活動していきます。また本年度初めて挑んだ School of the Year / Student of the Year の受賞にも一層注力し、プロジェクトとしての充実に努めていきたいと思えます。